

## 2 学期始業式

令和 6 年 9 月 2 日

2 学期がスタートしました。始業式では、生徒指導部長の先生から、「この夏に経験したことをもとに、成果が発揮できる 2 学期にしてほしい」と力強い話がありました。また、「2 学期は文化祭、修学旅行、進路実現と、長く充実した学期なので、皆が目標をもってしっかりと取り組んでほしい」との話もありました。そして、引き続き、自転車の乗り方も含めルール、マナーを常に大事にしようとも。

式の後には生徒総会があり、本部役員から、生徒会費についての決算、予算、規約改訂についての説明と議決がありました。

そして、その後、文化祭に向けての会議日程や有志参加等についての案内などがありました。加えて、前生徒会長から、クラス T シャツについての話もありました。各クラスとも、アイデア、知恵を出し合って、思い出になる T シャツが作れたらいいですね。

文化祭のテーマは「～ Let`s enjoy our youth～ 青春を楽しもう！」すばらしいタイトルです。良い文化祭に、そして、よい 2 学期になることを願っています。



### 2 学期始業式 式辞

今日は「受験」についての話をします。受験生に送る話です。3 年生に対してというだけではありません。来年と再来年の受験生、1, 2 年生に対しての話でもあります。

受験勉強は、定期テストの勉強とは違います。範囲が限定されていて、それを理解していれば、それなりに点が取れるし、準備期間も比較的短いのが定期テストの勉強。それに対して、受験勉強は、高校 3 年間の範囲すべてが範囲。というより、小中学校で学んだことも前提になるので、学び始めてからのすべてが試されるということになる。勉強機関も数か月では足りない。1 年もしくはそれ以上かかります。

その受験勉強をする意義は何か？私は 2 つあると思います。

1 つ目。まず、望む進路目標を実現するための勉強であるということ、これは、言うまでもないが、加えて、これまでの子ども時代からの学びを総括して、高いレベルで一度完成させて、一生に生かせるようにする勉強であるということ。

国語を例にとると、高校 3 年間の学習だけでなく、言葉を学び始めてからすべてがペースになる。内容としては、言葉の意味、漢字、文法等を基本としながら、文章を正しく読む力、考える力、表現する力が必要をつけていく。「読む力」1 つをとっても、国語だけの勉強すればいいのかというと、そんなことはない。色々なことへの知識や理解がないと文章は読めない。テーマとしてよく取り上げられる、自然科学に対して、社会的な話題について、文化について、哲学的な問題について、歴史について、ある程度の理解がないと、文章は読めない。だから、色々な他教科の学習や、日常の経験も絡んでくる。そういう色々なことを理解しながら、文章を隅々まで理解できる能力を高めていこうと思ったら、当然、短期間ではできない。1 カ月、2 カ月でもたりない。だからこそ意味があるんですよ。本物の力が

ついてくる。そうやって身に着けた力は、一生の土台になる。仕事で難しい文章を読んだり書いたり話したりすることにつながっていくんです。

国語を例にとりましたが、どの教科も同じ。受験勉強により、これまで3年間の、いやそれ以前からの、国語、数学、英語、理科も地歴公民も、学んできたことを、一生の基盤となるよう、整理して身につかせる。これまでの学びを総括する。そして、実践的に使えるようにする。そうすれば、これから社会に出て学ぶことが、それに肉付けされ、自分をバージョンアップさせていくのです。

2つ目の意味は、受験勉強は目標実現に向けての取り組みです。その中で、将来、数多くの夢を実現する、目標実現の過程を方法を体験的に学んでいるんですよ。

夢を実現する方法、これは1つしかない。目標を掲げ、何としても実現すると決意し、長期間努力を続けて、それに少しずつ近づいていく。これ以外にはない。

スランプも、気が乗らない時はあるだろうけど、体調が悪い時もあるだろうけど、長期目標を立て、1カ月2カ月といった中期目標を立て、そして、今週の目標、今日すべきことを、確実にやっていく。繰り返すけれども、人生で叶えたい夢をいくつも叶えていく方法を体験的に学んでいるんですよ。ぜひ、今の目標を実現して、実現したら、次の目標を見つけ、人生で数多くの目標、夢を実現してほしい。

しかし、それでも、それでも、受験勉強は長期にわたるので、しんどくなる時もありますよね。しんどくなった時の、助けとなるのは次の2つがあると思います。

1つは仲間です。

仲間というのは、一緒に頑張れる仲間。最後まで頑張ろうと励まし合って、それぞれの目標へ向かってともに戦って。

そして、自分が先に進路が決まってからも、仲間を応援してください。

もう1つは考え方です。

イギリスの作家で、「宝島」「ジキルとハイド」等をかいて有名な、ロバート・ルイス・ステューブソンはこういいました。

### 「希望を持ちつつ旅をするのは、そこに行き着くことよりも楽しい」

人生が、チャレンジとそのための努力の連続なのであれば、その過程の中で、「苦しさ」ではなく「喜び・楽しさ」を感じられたらいいですよ。これが、幸せな人生を送る1つのポイントではないかと思っています。

一生懸命は楽しいと考える vs 結果が楽しいと考える

これは、どちらも大事なことだと私は思います。

結果は楽しいというか、望む結果を手にした瞬間は、スポーツでも文化活動でも爆発的にうれしいものです。喜びが爆発するものだけど、結果は一瞬。

望む結果に向けて努力する時間が人生の大半なのだから、これを楽しいと感じられたら、日々喜びの多い人生を歩むことができますよね。

さあ、2学期です。2学期は、私からは、今後の自分の人生について考え、具体的な努力をする。そして、大きく成長する2学期にしてほしいと思います。